

辻栄住宅 —大阪長屋の最終形態—

長屋と言われて連想されるのは和風なもの。
しかし、この長屋は洋風な雰囲気になっています。
今回、改修前の姿を残すために撮影しました。
東住之江の街中にふと現れる、長屋を楽しんで
いただけたらと思います。

*概要

名称:辻栄住宅

創業:明治 10 年 借家として使われていました。

所在地:住之江区西住之江



当時貿易商人の町として栄えていた大阪は、西洋の文化を取り入れが進み、飾り窓や当時は珍しかった廊下を取り入れることが出来ました。

土地や住宅を表す住戸間口が 2.5 間(1 間=畳の長い方、通常 2 間)あるので、通常の長屋よりゆったり大きめな長屋。

数棟貸し出されていた長屋のなかで家賃が高めだったとか。



←現在も残されている当時の看板

うっすらではあるが家賃や部屋数が書かれている。

([あんじゅネット](http://anjin-net.jp) | [show \(osaka-angenet.jp\)](http://show.osaka-angenet.jp)より)

<2階>

一つひとつの部屋が広い！



飾り窓

当時は珍しく、住居によってデザインが異なっている。また、装飾のための窓であるため中から見ることはできない。

晴れた日は日差しがよく入りこむので電気を付けなくても明るく感じる。

飾りガラスは住宅ごとに違うところもポイント！！



階段

現代の階段と比べると非常に急である。さらに、階段の裏は押し入れになっている。

<1階>

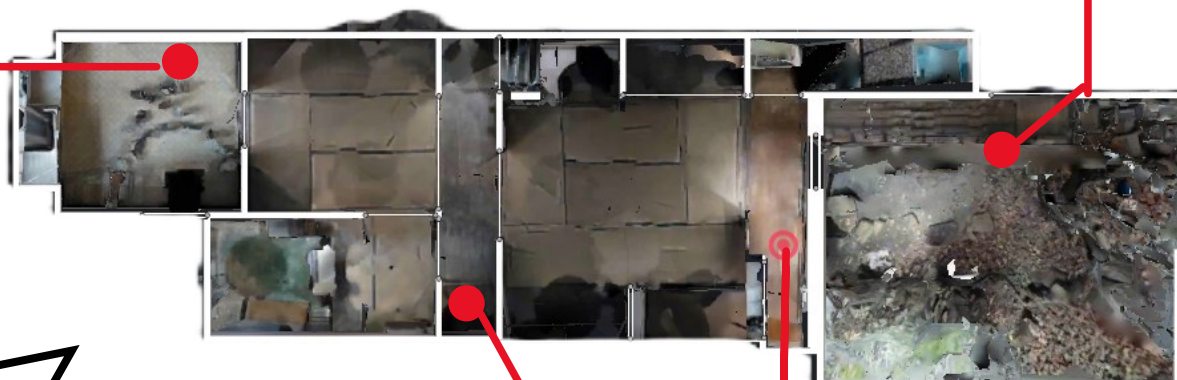
キッチン

床にはかわいらしいタイルが敷かれており、家族で十分に食事ができるくらい広い空間だった。

キッチンの周りが
とてもかわいい！

中庭

他の一般的な長屋よりは広く贅沢。
渡り廊下があり、渡った先にトイレがある。



今では当たり前にある廊下
が憧れだったことが
とても新鮮！

廊下

この長屋には長屋では珍しい廊下がある。新しい西洋建築の様式に憧れたためだと考えられる。